

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年6月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675100111
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈重留1137 (電話) 0995-24-1688
自己評価作成日	平成30年5月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年6月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日が単調にならないように季節の行事を取り入れ、それぞれ出来る事をスタッフも一緒に行いながら、楽しみのある笑いの絶えない生活を目指している。一日の中でゆっくりと話をする時間を持ち、ひとりひとり希望や思いに柔軟に応じながら家庭的な生活が出来るように心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ホームは、自治会に加入し自治会活動に積極的に参加している。また、地域住民が気軽に訪問したり、地域の行事や防災訓練に参加したり、介護相談を受けるなど協力関係を築いている。地域の防災組織に、「ひだまり班」として配置されており、グリップコール(握るだけの通報装置)を活用し、ホームの避難訓練にも地域の協力体制があり、消防団の巡回や不審者対策を検討するなど地域との良好な関係が構築されている。
- 職員は、一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーに配慮したケアに努め言葉かけや対応を心掛けている。ミーティングでは、具体的な事例を挙げて話し合い、職員全員が共通認識を持ち、ケアの場面では、その都度注意したり、対応を改めるなど取り組んでいる。夏場は、自然の風を取り入れたり、涼しい場所を求め利用者と職員が枕を並べて午睡をするなど家庭的な雰囲気の中で互いに過ごしている。
- 定例化された運営推進会議と年1回の家族会を同時開催し、なるべく多くの家族が会議に参加できるよう日程調整し、行政やメンバーに理解を求めている。家族の参加も多く、ホームの運営方針や取り組みに理解があり毎月の「ひだまり通信」「今日のお父さん・お母さん」を通じて近況報告をしており好評を得ている。職員は、利用者や家族との信頼関係が築けるよう対話に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内に掲示し日々の振り返りやスタッフ間での声かけミーティングを通して取り組むようにしている。	開設当初からの理念があり、理念に沿った単年度の目標を設定し職員全員で取り組んでいる。今年は、「ゆとりある、元気で明るい笑顔の絶えない生活」の実現を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	防災訓練では地域の施設班が来ることやグリップコール等協力的体制にある。近隣の方々との野菜のやり取りや桜の木を植えてくださる等、常に気をかけてもらっている。	地域の方が気軽に立ち寄ってくださる関係性が構築されており、野菜の差し入れや植樹などをして下さったり、地域の防災組織の一員として協力関係を築いている。また、毎月の自治会便りや回覧板、運営推進会議などを通じて地域の情報収集をおこない日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	十分ではないが、知人の面会時等理解を頂けるように言葉添えをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の事例や現状報告、困っている事など意見や助言をもらい意見交換している。	行政に理解を求めながら、なるべく家族が参加しやすいよう日程を調整している。年2回の花見会、家族会には多くの家族が参加されるため、行事と同時開催するなど工夫し、ホームの取り組みや課題、利用者の現状報告を踏まえて家族や参加メンバーに報告や相談をして解決策を検討し、情報の共有を図り協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域密着型連絡協議会等を通して連携を図るように努めている。</p>	<p>市担当者とは、日頃から助言やアドバイスをもらうなどして協力関係を築いており、困難ケースの相談を受けたり、待機者情報を共有するなど連携を図っている。管理者は、連絡協議会に参加し、ミーティングでフィードバックして職員と情報を共有するよう取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日々のケアの中での振り返りや申し合わせ、ミーティングなどを通じて確認をしながら取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、マニュアルに沿って共通認識を図ったり、事例を用いて勉強会をおこない、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。散歩や庭を散策したり、近隣のコンビニエンスストアなどでショッピングすることがよい気分転換になっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会や日々の振り返り確認をしながら絶対に行わないように取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在は事例は無いが、必要ときは柔軟に対応していく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明を行い、不明な点などの確認を行い、理解納得を図っている。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族会、運営推進会議を通して意見をもらうようにしている。</p>	<p>年1回の家族会、運営推進会、面会時に直接、意見や要望を聞き取るようにしており、家族の声が職員にスムーズに届くなど関係性も良く、なんでも相談ができる良好な関係が築けている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見には耳を傾け、確実に答えを伝えるようにしている。</p>	<p>人事考課システムがあり、管理者とは随時面談を実施している。職員の定着率もよく、国家資格取得のための試験対策や資格取得にも力を入れ職員をバックアップしている。運営については、ミーティングで意見交換している。また、食事会や忘年会を通じて職員間の親睦を図っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>考課表を用いた自己評価と所属長評価などをもとに、処遇を含めた職場環境の改善に取り組んでいる。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>近隣で行われる外部の研修へ参加の機会をもうけたり、働きながら資格取得を目指す職員に対し、資金的な支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>本市の地域密着型サービス連絡協議会に参加し、保険者や他事業所との情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	十分にコミュニケーションを取り、職員の気付きを申し合わせを行い、落ち着いた生活が出来るように関係作りに心がけている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入所時や面会時等、話をし希望を伝えやすいように努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	意見や希望を聞き、柔軟に対応できるように努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	利用者が話し合いながら決定する事を大切にし、一緒に行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間を定めないことや話しやすい環境の提供、年二回の行事への参加情報の共有を通して、今までの関係を続けられる様に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望を聞き、美容室や買い物など柔軟に対応し、継続して行える様努めている。	少額の金銭管理を自己でされている方がおられショッピングを楽しまれたり、職員が手紙やはがきのやり取りを支援したり、自宅への外出、年末年始の外泊で地域の方々との交流を継続できるよう支援している。携帯電話で家族や知人と連絡を取ったりされている方がおられる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間で声かけ合い、支え合いながら生活されている。職員はトラブルが発生しないように配慮に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じて対応していく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わり合いの中で、希望や思いを伝えやすい関係作りに努め、実現できるように心がけている。	本人の表情、しぐさや何気ない言葉の中に本人の思いを汲み取ったり、「気づきシート」を活用し、ミーティングで話し合い、朝、夕の申し送り時職員間で共有するようにしている。職員は、業務にとらわれず、ただ単に利用者寄り添い何もしない時間も大切にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話や家族からの情報等から把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの状況や状態、意志の確認を行い、見極めながら支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の希望の聞き取りや家族の意向の確認を行い、申し送りやミーティングで意見交換を行い、介護計画に役立てるように努めている。	アセスメントの分析結果を介護計画に反映させ、毎月のモニタリングの実施、随時の柔軟な計画の見直しに努めており、本人本位に支援している。利用者の思いや意向の把握は、申し送り時やミーティングで現状把握をするよう努めており、家族には、「今日のお父さん、お母さん」「ひだまり通信」を送付し近況報告して利用者の暮らしぶりを理解して頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	細かな変化や様子を記録し、それをもとに確認しながら介護計画に役立てるように心がけている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	それぞれの希望に出来る限り柔軟に対応するようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会への参加しており、いろいろな協力体制で支援してもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのそれぞれのかかりつけ医を継続して受診できるように支援し、利用者を通じて関係作りに努めている。	本人や家族が希望するかかりつけ医であり、外来受診は職員が対応し適切な医療を受けている。また、検査時や病状説明、他科受診などは、家族の協力ももらっている。訪問看護や薬剤師との医療連携がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週1回訪問看護を受け、相談や助言を受け情報の共有や申し合わせを行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	情報共有をし、環境の変化による混乱を少なくするよう努め、早期の退院への協力を依頼している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	段階に応じて、話す機会を作り、本人や家族の意向を確認し、方向性を話し合っている。	<p>契約時、重度化や終末期に伴う対応の指針にて説明し同意をいただいている。「意思確認書」については、年1回文書にて同意をいただくように取り組んでおり、昨年9月には、看取り後の家族また、職員にも聞き取りし、次回へのステップアップを図れるようミーティングで話し合った。本人、家族が納得のいく最期が迎えられよう柔軟に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	その都度ミーティングや勉強会で選べるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>施設内での避難訓練や地域の防災訓練に参加し、協力体制を築いている。</p>	<p>地域との相互の防災協力が確立しており、地域の方々の自主性も高く協力的で役割分担も決められており、避難訓練にも積極的に参加して下さっている。年2回、消防立ち合いと自主訓練を実施、今回は地震想定訓練を実施実際に利用者といっしょに避難訓練した。水や米などの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一つ一つ意志の確認を行いながら、支援するようにしている。	ミーティングで事例を上げて話し合い、利用者ごとに呼び掛けは工夫するなど共通認識を図り、日常的にプライバシーに配慮したケアに取り組むとともに、馴れ合いにならないよう職員同士気配りしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一つ一つ意志の確認をした上で、行動に移し、支援するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれのペースで利用者本位の生活が出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	それぞれが自分で決めてその人らしい身だしなみを継続して行える様支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材や食べたいメニューの聞き取りを行うように心がけている。また、それぞれ出来る事を一緒に行う。調理も行うように心がけている。	調理は、その日の食材で作るが、差し入れが多く、野菜を中心にバランスよく利用者の希望を取り入れ食事を提供している。運動会は、手作り弁当、外食もあり、おせちや誕生会のリクエストメニュー、能力に応じた食事の準備や保存食などの手伝いがある。また、時には、ノンアルコールで晩酌をされる方もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	総合的に摂取量が確保できるように把握、記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれにあわせた口腔ケアを支援している。歯科受診は必要に応じて往診などの協力体制もある。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	季節やそれぞれの能力に応じた支援を検討し、行うようにしている。	なるべくオムツでの排泄が減らせるよう排泄のリズムを把握し、トイレ誘導し排泄ができるよう自立支援に取り組んでいる。おむつの使用量や使用状況はいつでも説明ができるよう記録を残し家族への説明は早めに対応するよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	確実な排泄状況の把握に努め、申し送り適切な下剤の使用などで便秘の予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を定めておらず、本人の希望やその日の体調に合わせた入浴を柔軟に対応できるようにしている。	毎日入浴される方がおられたり、隔日ごとに入浴される方もあり、入浴剤を活用したり、同性介助に配慮するなどして入浴を楽しんでいただいている。また、冬場は、足浴を実施し循環を良好に保ち入浴効果にて気分転換を図っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの本人のペースに応じてくつろげる場所で休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	確実に服薬できるようにしている。変更時等も申し送りを通して全員が周知するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの力量やその日の状況を見極めながら、一緒に楽しみながら行うようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望を聞き、美容室や買い物、散歩や家族の支援による外食など柔軟に対応できるように支援している。	近隣の散歩・お孫さんの店に外出される方や、年間行事にて、2月は、駅伝見学、4月花見やこいのぼり見学、7月ソーメン流し、10月運動会、11月もみじ遠足など、季節に応じて計画的に外出支援をしている。また、計画の際には家族にも参加を呼びかけるなど案内状を出している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>大半の方は家族管理であるが、持っている方は家族と相談の上で、本人管理となっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話や外線電話での会話、手紙のやり取りなど自由に行えるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合わせた壁紙などの掲示や花を飾るなど、四季を感じれるように努めている。</p>	<p>明るく温かみがある空間、対面式キッチンであり、食卓との距離間が家庭的で、長ソファに座りテレビ鑑賞をされる方や、廊下にベットを配置し休まれる方があるなど、それぞれが思い思いに過ごせる工夫がある共有空間である。壁には、運動会の写真や季節の手作りの作品が掲示されている。玄関のスロープには、野菜がプランター栽培され季節感を与えている</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれの居場所が自然と定着している。思い思いに過ごせるように、その時々にあわせて対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのある家具やTVなど、希望に応じて持ち込まれ、居心地の良い空間作りに努めている。</p>	<p>職員は、なるべく使い慣れた馴染みのある物を持ち込んでいただくよう勧めている。居室で家族などとゆっくり歓談できるよう各居室に好みの椅子が配置されている。土地柄、年間を通じて気温も良好なため、居室には壁掛けの扇風機が設置されてい</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>表札や掲示物で誘導できるように工夫している。動線上の安全確保し、安全に生活が出来るよう努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない